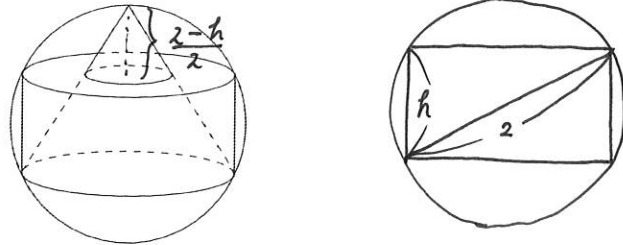




2014年 第2問

数理
石井K

2 図のように、円柱 E と直円錐 F が半径1の球に内接しており、さらに E と F の底面は一致している。このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 円柱 E の高さを h とするとき、円柱 E の底面の半径と直円錐 F の高さを、それぞれ h を用いて表しなさい。
 (2) 半径1の球に内接する円柱の体積の最大値を求めなさい。
 (3) 円柱 E の体積と直円錐 F の体積が等しいとする。円柱 E から直円錐 F が重なっている部分をくり抜いたとき、くり抜かれて残った立体の体積を求めなさい。

(1) 右上の図と三平方の定理より、 E の底面の半径は、 $\frac{\sqrt{4-h^2}}{2}$ //

F の高さは、 $\frac{2-h}{2} + h = 1 + \frac{h}{2}$ //

(2) 円柱の体積 V_1 は、 $V_1 = \pi \cdot \left(\frac{\sqrt{4-h^2}}{2}\right)^2 \times h = \frac{\pi}{4} \cdot h(4-h^2)$

$$\therefore V_1(h) = -\frac{\pi}{4} h^3 + h\pi \quad \therefore V_1'(h) = -\frac{3}{4}\pi h^2 + \pi$$

$$\therefore V_1'(h) = 0 \text{ とするときは、} h = \frac{2}{\sqrt{3}}$$

$$\therefore V_1(h) \text{ の最大値は、} V_1\left(\frac{2}{\sqrt{3}}\right) = \frac{4\sqrt{3}}{9} \pi \text{ (} h = \frac{2}{\sqrt{3}} \text{ のとき)}$$

h	(0)	\dots	$\frac{2}{\sqrt{3}}$	\dots	(2)
$V_1(h)$		+	0	-	
$V_1''(h)$			\uparrow	\downarrow	

(3) 円錐の体積 V_2 は、 $V_2 = \pi \cdot \left(\frac{\sqrt{4-h^2}}{2}\right)^2 \times \frac{1}{3} \times \left(1 + \frac{h}{2}\right)$

$$V_1 = V_2 \text{ より、} h = \frac{1}{3} \left(1 + \frac{h}{2}\right) \quad \therefore h = \frac{2}{5}$$

F が E からはみ出した部分の体積は、 $\pi \cdot \left(\frac{\sqrt{4-h^2}}{2}\right)^2 \times \frac{1}{3} \times \left(1 + \frac{h}{2}\right) \times \left(\frac{1 - \frac{h}{2}}{1 + \frac{h}{2}}\right)^3$

$$h = \frac{2}{5} \text{ を代入すると、} \frac{128}{1125} \pi$$

ここで、(F が E からはみ出した部分の体積) = (E が F からはみ出した部分の体積)

$$\text{より、} \frac{128}{1125} \pi //$$